

小5算数科 「3つの見届ける」

単元名「割合(比べ方を考えよう)」

単元の指導計画

第1～2時	第3～5時	第6～7時	第8～9時	第10時
割合の用語とその意味、 (割合) = (比べる量) ÷ (もとにする量)である ことを理解する。	「パーセント(%)」、「百分率」 等の用語とその意味を理解 し、割合を百分率で求めるこ とができる。	比べる量やもとに する量を求める方 法を理解する。	やや複雑な場面におい て、割合(百分率)、比 べる量、もとにする量を 求めることができる。	割合にかかわ る練習問題に 取り組む。

第6時「割合の使い方ー1」

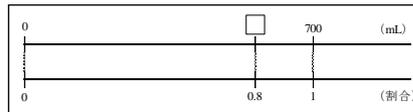
ねらい

もとにする量、比べる量、割合(百分率)を2本の数直線に表す活動を通して、もとにする量と割合から比べる量を求めるときはかけ算で求められることに気付き、比べる量を求めることができる。

学習活動

1 場面を把握する。

○問題文から割合(0.8)、もとにする量(700)、比べる量(□)をぬき出し、2本の数直線に表し、場面を把握する。



2 課題をつかむ。

○既習の学習内容をもとにして、追究の方法、結果の見通しをもち、課題を明確にする。

もとにする量と割合がわかっているときに、比べる量を求める式を考えよう。

3 個人で追究し、全体で交流する。

○数直線を活用して立式し、全体で交流する。
○つまずきのある児童については、割合が1より大きい場面を考えさせる。

4 本時の学習をまとめる。

○(比べる量) = (もとにする量) × (割合)
比べる量を求めるときには、もとにする量に割合をかける。

5 評価問題に取り組む。

6 本時の学習を振り返る。

○実態を見届ける(見極める)

○既習の内容の定着を見届ける。

- ・(整数) × (小数)の計算ができるか。
- ・百分率を小数に表すことができるか。
- ・割合を求める場面において、2本の数直線を活用して数量関係を把握し、演算決定できるか。

※帯活動や家庭学習の様子などから実態を把握するとともに、既習の内容の定着を見届ける。

○授業のねらいを見極める。

もとにする量と割合(百分率)から比べる量を求める場面の立式をねらいとする。そこで、それぞれの量と割合を2本の数直線に書き込み、数量関係を把握するまでを全体追究とし、数直線をもとにした立式を個人追究で考えることとする。

○学習状況を見届ける

○比べる量を求める立式ができているかを見届ける。

- ・次の方法で立式されているか、個人追究におけるノートや全体交流の発言などから見届ける。

<何倍の考えから>

- ・700の0.8倍にあたる量を求めるから、
 700×0.8

<数直線から>

- ・ $1 \times 0.8 = 0.8$ なので、
(もとにする量) $\times 0.8 =$ (比べる量)

○定着状況を見届ける

本時では10分程度の時間を確保し、次の学習に取り組むことで定着を見届ける。

○評価問題を提示し、演算決定の根拠を説明させることにより、どの児童も本時の学習内容を理解したか見届ける。

評価問題 ・ (数量関係を表した2本の数直線を提示して) 果汁が60%ふくまれている飲み物があります。この飲み物400mLには、何mLの果汁が入っているでしょう。果汁を求める式が何算か、2本の数直線を使って説明しましょう。

○評価問題で演算決定の根拠を説明できた児童は、教科書を活用して繰り返す学習に取り組ませ、定着を見届ける。

繰り返す学習 ・ 教科書 P88 ①(1)(2)②

○振り返りの視点を明確にして、学習を振り返る。

(考え方のよさ) 2つの数直線を使えば、比べる量を求めるときにかけ算を使うことがわかった。(自分の考えを改善するきっかけになった考え方) もとにする量を1にすると、0.8に当たる大きさを求めればよいと考えられるからです。